

AIが花を見分け

406種 深層学習 Area I に新展示

NEWS CIT

2017
5.15
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 小松崎さんベストプレゼン賞
／坂本研がRNAアプタマー濃縮過程を解析／志賀さん学術奨励講演賞／長瀬教授、佐波教授にフェロー称号／名誉教授に4氏
- 3面 御宿でロケット燃焼実験／赤澤研が立山の特産包む風呂敷／千葉工大創立75周年
- 4面 平成29年度予算案を承認／29年度予算の概要
- 5面 出版案内／中国3大学から留学20周年同窓会／訃報／校友「八鳥佐内さん」
- 6面 新任紹介



① 花の種類を識別する「hananona」
② Halluc IIの輪切りが見られる「ロボット解剖学」



「Halluc II」



東京スカイツリータウンキャンパスのArea I (ロボット技術ゾーン)に4月6日、人工知能・ソフトウェア技術研究センター(STAIR Lab)が新開発した人工知能(AI)で花を識別する「hananona (ハナノナ)」が新しく加わった。また、世界最大級の可搬重量性能を持つ大型2足歩行ロボット「core」や未来の乗り物のコンセプトモデル「Halluc II」などが新たに展示された。

「hananona」は人工知能が大量の訓練データと深層学習によって獲得した分類能力を可視化する体験型のシステム。テーブル上に置かれ

クールビス実施中



5月1日～9月30日

「花マップ」は、人工知能が約30万枚の花の写真を学習した結果を可視化したもの。406種類の花を分類する。カメラで撮影された画像がバラバラに分解されてディスプレイに吸い込まれていくという演出で作られた動画が見学者の興味を誘っている。

た写真集や絵本などから、好きな花の絵や写真を備え付けのカメラで撮影すると、人工知能が解析して花の種類を判定。その結果が正面にあるディスプレイ上の「花マップ」に表示される。

人工知能を使った画像認識の技術は急速に進歩している。例えば船や食器、消防士、動物といった雑多な大きささまざまの物の画像を高い精度で認識する技術もある。「hananona」はそれと基本的に同じ技術を使っているが、花だけに特

超重量2足coreや輪切りHalluc IIも

Area Iにこのほか新たに登場したのは「core」「ロボット解剖学」「Halluc II」「Halluc IIx」の3コーナー。

「core」は重さ100kgの物を載せて、平坦な床面や段差・階段がある場所などを踏破できる全長1.9m、体重230kgの大型・超重量級の2足歩行ロボット。左右の足を構成する6



2足歩行ロボット「core」

つの関節には、未来ロボット技術研究センター(fuRo)が独自に開発したモーターや電磁ブレーキ、絶対角度センサーからなる大型モーターシステムが、足裏部には床からの衝撃を大幅に軽減することできる衝撃吸収機構が搭載されている。

「ガンダム」シリーズなどに登場する、人が乗って操縦する巨大なヒト型ロボットのベースに見立てて「core」の動画を見るのも楽しい。「ロボット解剖学」は、展示されている「Halluc II」をロボットアームの先端に取り付

けられたカメラでいろいろな角度から捉え、そのリアルタイム画像とCGのHalluc IIを輪切りにした画像を重ね合わせながら、まるでロボットの複雑な内部構造をスキャンしているかのように見える工夫をこらしている。見学者は以前、火星探査船操縦シミュレーターとして使用されていたコックピットのスクリーンでその映像を見ることができた。

オープンキャンパス2017

OPEN CAMPUS

6/18(日) 10:00-15:00

千葉工業大学

小松崎さんベストプレゼン賞

▽ 破裂発生寿命の新たな予測式を提案

日本機械学会関東支部 発表講演会(3月16日、第56回学生員卒業研究 東京都葛飾区の東京理科



小松崎悟さん

大・葛飾キャンパスで開催)で、小松崎悟さん(受賞時機械サイエンス学科4年、緒方隆志研究室)が「Cr-Mn鍛鋼環状切欠き試験片のクリープ破断強度」を発表し、Best Presentation Awardを受賞した。緒方教授の研究室は、機械社会を支える金属材料の強度評価、損傷機構の解析、寿命評価法の開発などをしている。例えば火力発電所で働く高温機

器には信頼性の維持が欠かせない。高温のもと、蒸気タービンローターの応力集中部に応力が作用し続けると、材料が使用中に損傷することがある。クリープ損傷といわれる。小松崎さんは「受賞するとは――。大変うれいですが、何より共に研究をして来た仲間たち、丁寧な指導をいただいた緒方先生に感謝の気持ちでいっぱいです」と語った。

志賀さん 学術奨励講演賞

▽ 成膜技術と反応過程解析を発表



志賀拓也さん

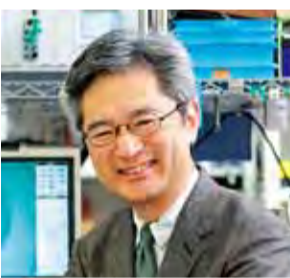
表面技術協会の第135回講演大会(3月9、10日、埼玉県川越市の東洋大・川越キャンパスで開催)で、機械サイエンス学科の志賀拓也さん(受賞時4年・井上泰志

法による反応過程解析」を発表し、第23回学術奨励講演賞を受賞した。井上教授の研究室では、先端技術を使って新奇物質を創成し、その構造や物性の評価、工業的応用を探っている。シリコン系のSiO₂膜は、水を完全に拒絶し、超撥水表面や、LSIの

信号遅延を防ぐ超低誘電性を実現する新材料として期待を集めている。志賀さんらは薄膜形成技術の一つであるICP-CVD法(誘導結合型プラズマ化学気相蒸着)を使って、成膜過程を直接観察し、綿密に解析。その技術や発表ぶりが評価された。志賀さんは「ポスターを見る立場になって、グラフや図表のレイアウトを工夫しました。大変光栄です」と感想を語った。

長瀬教授、佐波教授に「フェロー」称号授与

情報通信学会



長瀬亮教授



佐波孝彦教授

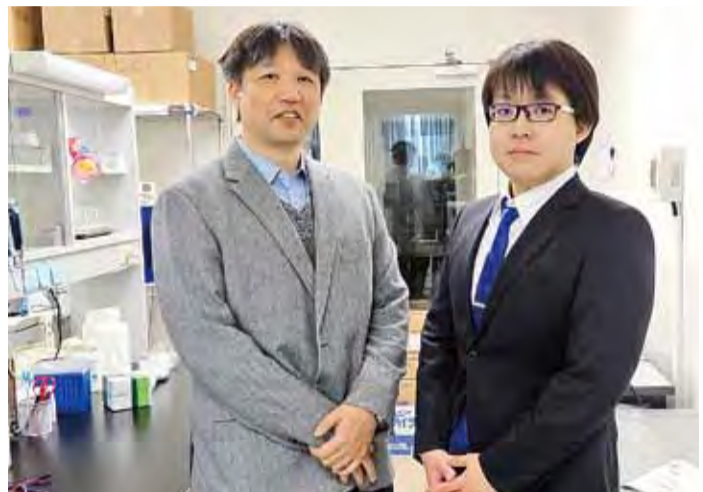
機械電子創成工学科の長瀬亮教授、情報工学科の佐波孝彦教授の2人が、3月24日、電子情報通信学会(IEICE)から、「フェロー」の称号を授与された。長瀬教授の専門は光ファイバー応用技術で、光通信技術の初期から通信用光コネクタの研究開発に携わり、基盤技術の確立や標準化に貢献。開発した光コネクタは世界の光通信ネットワーク

IEICEは100年の歴史を持ち会員数は2万5千余人と国内最大級。2000年度からフェロー制度を導入し年度ごとに正会員の0.1%を上限に認定している。

RNAアプタマー濃縮過程を解析

世界初

▽ 坂本研 医薬品開発の促進に期待
次世代型分子標的薬として注目されるアプタマー医薬品の開発について、本学生命科学科の坂本泰一教授、河合剛太教授、工学専攻博士後期課程3年の天野亮さん(現・東京大医科学研究所)らは3月21日、アプタマー創薬会社(株)リボミックと共同で、RNAアプタマーが濃縮される過程を核磁気共鳴分光法(NMR法(注1))でモニタリングすることに世界で初めて成功したと発表した。



坂本泰一教授(左)と天野亮さん

アプタマーは、標的分子を認識して強く結合する核酸だが、目的のアプタマーを得るSELEX実験(注2)は従来、研究者の勘や熟練度に頼るところが大きかった。坂本

教授らの手法を使えば、望み性質のアプタマーを取り出しやすくなり、医薬品開発が促進されると期待される。バイオ医薬品はこれまで、遺伝子組み換え技術などを応用して動物細胞や大腸菌に治療に有用なたんぱく質を作らせる細

胞培養方法を取り、糖尿病治療のインスリンやC型肝炎用のインターフェロンのほか種々の抗体医薬品を生み出してきた。一方、アプタマー医薬品は化学合成で大量生産が可能。細胞培養に比べて安価に安定して医薬品を生産できるため「次世代型」といわれる。すでに加齢黄斑変性症の治療で成功している。リボミックと千葉工大チームは10年以上、アプタマー医薬品開発の基礎的手法を追究してきた。坂本教授、河合教授は、たんぱく質やRNA

(注1)核磁気共鳴分光法(NMR法) 原子核(炭素や水素)と磁場の間に起る核磁気共鳴を利用して、分子の構造や運動状態などの性質を分析する方法。
(注2)SELEX実験



小泉 俊雄氏



依田十久子氏



荻林 成章氏



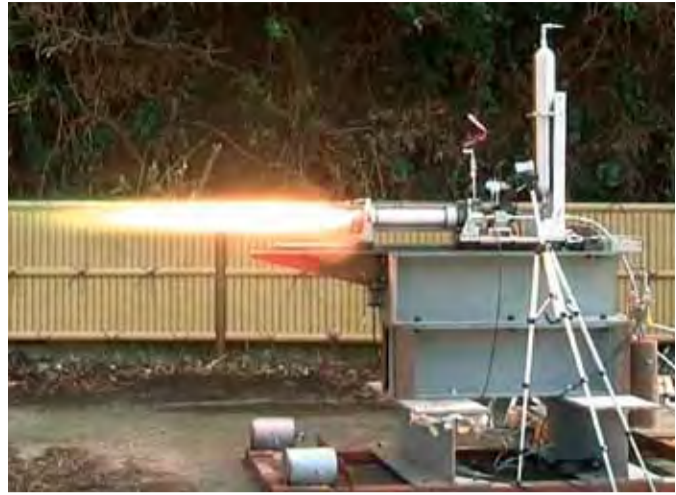
五百井俊宏氏

名誉教授に4氏

千葉工大で長年、教育・研究に尽くし学術の向上に寄与した4氏に対し、本学は4月26日付で千葉工業大学名誉教授の称号を授与した。新たに名誉教授となったのは元建築都市環境学科教授の小泉俊雄氏、工学部教育センター教授の依田十久子氏、元経営情報科学科教授の荻林成章氏、元プロジェクトマネージャメント学科教授の五百井俊宏氏。

御宿でロケット燃烧実験

和准教授ら 高度1000mを目指して



激しく炎を吹き出し順調に燃烧するロケットエンジン

低融点のプラスチックを燃料とする観測ロケットを高度1000mに打ち上げるプロジェクトに挑戦している惑星探査研究センター(PERC)・和田豊非常勤上席研究員(機械電子創成工学科准教授)のチームが3月29日、千葉県御宿町で小型ロケットエンジンの騒音環境負荷を調べる燃烧実験を行い、成功した。

実験場は本学の研修センターと同じ岩和田地区にある海に面し、断崖に囲まれた町の管理地。打ち上げ時にロケットエンジンが発する轟音が、近隣の民家などに与える影響を調べるのが目的だ。実験に使用したのは昨年7月、伊豆大島での打ち上げ実験でマッハ1.2での飛行に成功した小型観測ロケットに搭載したハイブリッドエンジン

たのと同じハイブリッドエンジン。約5秒間の燃烧で、最も近い約200m離れた民家で計測された騒音は78デシベルと、人の大声での会話と同レベルだった。

和准教授は「爆音が周囲の崖に反射して、海や空に逃げていくためだ」と思う。この場所なら安全性も確保できるので、高度1000mを目指すロケットの開発過程が必要となる多くの実験を長期にわたってできるように整備していきたい」と話している。

同准教授のチームは現在、2020年の打ち上げを目指して高度30mに到達する推力5kN(キニュートン)の観測ロケットの設計・製作を進めている。

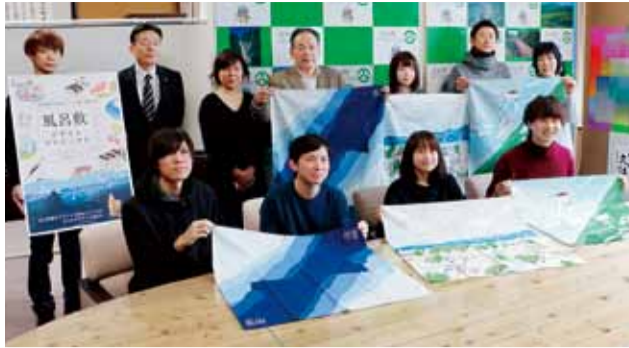
「宇宙実験もできる御宿町」と観光客にアピールする恒例行事として、町おこしにも一役買いたい考えた。

町おこしにも一役

本学と御宿町は2014年6月に包括連携協定を締結。このロケット実験場の整備にも町は全面協力の意向を示している。そこで同町の名物行事「伊勢ひび祭り」(9月1日〜10月31日)が最高潮となる10月1日、岩和田の実験場から小型ロケット(全長1.5〜2m、到達高度500〜900m)の打ち上げを行う予定。このデモ

北アルプス 立山の特産包む風呂敷

赤澤研学生らがデザイン



フィールドワークを通して作り上げた立山町の風呂敷



ワークショップでアイデアを出し合う

この風呂敷づくりは、立山町の特産品を統一したデザインの風呂敷で包むことで、お土産を買う観光客に「立山」をもっと強く印象づけたいと町役場が企画。赤澤研の小田彩花さん(現修10年)を中心に学生と町民、町役場の職員、富山北部高校生らの混成3グループをつくりそれぞれ2案ずつ発表、そのうち3案が製造された。

小田さんは、立山町の方々の思いが表現された風呂敷となるよう方法について検討を重ね、昨年11月から12月にかけて現地での3回のワークショップを設計、実施した。ここで得られた町民らによるコンセプトボードを

持ち帰り、所属3〜4年生が手分けして具体的なデザイン案を作成。町側関係者の投票にかけて、実際に作る風呂敷のデザインを決めた。

今年3月15日、町役場で行われた発表会でお披露目されたのは、朝霧に覆われた荘厳な立山、立山連峰から農地に流れる豊かな水、四季の立山連峰と特別天然記念物の雷鳥の3種類。立山町はこれらの風呂敷を各1000枚ずつ製造済みで、今後、町をPRするイベントや土産物店などでの活用を検討。町役場商工観光課の担当者は「大変素晴らしいものができたので、大切にしていきたい」と話している。

瓶ラベルも試作

赤澤研では、立山町の特産品の一つ、西洋梨のジュース(商品名「ラフランス」)の瓶のラベルデザイン(ラベルのデザイン)の試作も行った。昨年年度の3年生と4年生約10人が参加。摘果や袋がけなどの農作業の紹介や、ラベルの両面を使ったデザイン、アルペンルート(の駅ごとに異なるラベルの瓶を置く案など)10数案を、3月15日に風呂敷と併せてお披露目したII写真。



同年ラフランスが不作だったため製造に至らず、実施デザイン案は次年度に持ち越された。フィールドワークを通して現物や現場を知り作品を練って完成させるという立山町でのこれらの活動は、学生にとって学内の座学では得られない貴重な体験となっている。

75th Anniversary

2017年 千葉工業大学 創立75周年



1942年の本学創立から75周年となる5月15日、教職員感謝の集いが東京都内のホテルで開かれた。瀬戸熊修理理事長は冒頭のあいさつで「理事長として26年間本学を導き、今日の発展への道筋をつけたら豊田耕作先生が亡くなって今年で5年。本日の75周年節目に、千葉工大はこれからも80年、90年、100年と大きな夢を抱いて歴史を刻んでいかなければなりません。教職員の皆さんには一致団結し、さらなる発展に向けて協力していただきたい」と呼びかけた。

続いて、本学の創立に尽力した小原國芳翁の孫で、来賓として出席した小原芳明玉川学園理事長が「75周年を迎えた千葉工大の今日、の隆盛ぶりを見て、祖父もさぞかし喜んでることだろうと思います」と、お祝いの言葉を述べた。

また、お祝いに駆け付けたジャーナリストの櫻井よしこさんは「日本は21世紀、本当の意味の世界のリーダーになるべきだと私は思っています。その先頭に千葉工大の皆さま方は立っていただきたい」とエールを送った。このあと小宮一仁学長の音頭で乾杯し、歓談した。

会場には小原國芳翁が、多くの夢を持ってほしいと願って書いた、夕の部分が一画多い「夢」の文字が飾られ、教職員らは改めて千葉工大75年の歴史に思いを馳せていた。



千葉工業大学 平成29年度予算

平成29年度予算案を承認

3月28日、東京ガーデンパレスで開かれた本学理事会・評議員会で、平成29年度予算案が承認された。

高等教育を取り巻く環境

国内では、現政権による積極的な経済政策が引き続き実施され、企業収益は高水準を維持している。一方で円安や原油高により個人消費の低迷が長期化しており、アメリカ新大統領の保護主義政策が実施されれば、ゆるやかな回復基調にある日本経済へのマイナス影響

が懸念される。消費税の引き上げを2年半延期したことにより、プライマリバランスの平成32年度黒字化の目標達成も暗雲が立ち込めており、社会保障費の抑制など、将来に向けた大きな課題が山積している。

これらを踏まえ、文部科学省はグローバル化、産業界・地域と大学の連携、社会貢献、教育の質的転換など、大学に求める社会的役割を明確にし、各大学の取り組みを支援している。また、高大接続改革を推進しており、大学入試センター試

験に代わる「高等学校基礎学力テスト(仮称)」や「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の導入に向けて準備を進めている。

創立75年目を迎える今年度は、創立100年に向けての取り組みをさらに積極的に実行していく。昨年4月に新設した工学部6学科、創造工学部3学科、先進工学部3学科を軌道に乗せ、教育目標を達成すべく、引き続き教育改革に取り組みでいる。これまでのさまざまな教育支援策によつて、退学者・留学者の抑

制は着実に進んでおり、進路状況は雇用環境の改善もあり、進路決定率も上昇している。

未来ロボット技術研究センターでは、大手建設会社と共同で狭隘な天井裏の空間を調査可能な小型かつ軽量の天井裏点検ロボット「CHERRI」を開発した。惑星探査研究センターでは、宇宙からの流星観測を行う「ISS流星観測プロジェクトMETEOR」が始動したほか、成層圏微生物採集実験を実施するなど積極的に活動している。大学の一般入試志願者

動向は、工学部改組、教育研究体制の充実、入試制度の改革、積極的な広報展開、キャンパス再開などの取り組みによつて引き続き回復基調にある。平成29年度入試試験では過去最高となった昨年度をやや下回ったものの、志願者総数では全国9位となった。

1 教育・研究 昨年度に引き続き、教職協働により、教育・研究の質の向上を推進し、退学者・留学者の抑制、大学院進学者及び編入学

者の増加に務める。平成28年3月の学校教育法施行規則の改正により、大学はその教育研究上の目的を踏まえ、「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受け入れの方針」(アドミッション・ポリシー)を一貫性あるものとして策定し公表することが義務付けられ、平成29年4月1日より施行される。

工学部の改組に伴い抜本的な見直しを行った新たな教育課程については、中央教育審議会答申等で示された学十力の養成、すなわち知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、総合力・創造力

を養うことを念頭に、能動的学修(アクティブラーニング)やインターンシップなど主体的な学びも多く取り入れて構成されており、教養教育・専門教育を通じて教育課程の体系化、単位の実質化を実現している。

教育方法の改善については、「FDフォーラム」、「FD講演会」を開催するなど、FD(ファカルティ・ディベロップメント)の継続的な推進を図る。さらに、SD(スタッフ・ディベロップメント)研修への教員参加を拡大し、教職協働による教育支援体制を拡充する。

留学者や退学者の抑制策については、追加的な補習授業の実施や再試験制度及び仮進級制度を導入し効果をあげている。平成28年度に本学がタイムズ・ハイヤー・エデュケーション世界大学ランキング2016・17で初めてランキンし、国際化を進めるうえで重要な要因となる客観的な評価を得ることができた。今後も海外大学との交流協定を積極的に拡大し、留学生の受け入れ及び本学学生の海外留学とともに増加させる。さらに「小川勉国際交流支援基金」も活用しながら広く留学生を受け入れ、出身国のリーダーとなり得る人材の育成に寄与する。研究及び産官学連携に

加を図る。

ついては、「学校法人千葉工業大学産官学連携協議会」を通じた活動のほか、研究の活性化と産学連携の強化を推進する。加えて、安全保障貿易管理等についても管理体制の整備を進め、更に充実したコンプライアンス遵守体制の構築を進める。

2 管理運営 新志野校舎の再開発計画の一環として、今年度も引き続き新講義棟の建設工事を進め、今年度後期の供用開始を目指す。西浜運動施設での第二武道館建設工事に着手、教育研究活動や課外活動の更なる充実を図っていく。既存建物の維持・管理、キャンパス全体の中長期的な改修の準備。

平成29年度予算の概要

I【教育活動収入】

156・4億円(昨年度158・7億円 昨年度比2・3億円減) 学生納付金は前年度比微減の135・5億円とし、全体では2・3億円程度の減少を見込んでい

II【教育活動支出】

155・3億円(昨年度157・1億円 昨年度比1・8億円減) ①人件費は、退職金の減少があるものの、研究員の増加等によって4千万円の増加を見込む。

III【教育活動外収入】

教育活動外収入は受取利息・配当金で2億円を見込む(昨年度比1・1億円増)。教育活動外支出の予定はない。

IV【特別収支】

特別収入は施設設備補助金で3千万円、特別支出は資産処分差額として1千万円を計上した。

V【基本金組入前当年度収支差額】

3・3億円(基本金組入額) 11・5億円(昨年度3・2億円 昨年度比8・3億円増)

VI【基本金組入額】

組入額 6・6億円(第1号基本金 3億円増) 組入額 5・1億円(建物 除却額 △0億円)

VII【収支差額】

以上の結果、当年度収支差額は8・2億円の支出超過、前年度繰越収支差額は73億円のマイナスなので、翌年度繰越収支差額は81・2億円の支出超過となる予算である。(主文はウェブに掲載)

資金収支

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 平成29年度予算, 平成28年度予算, 差異. Rows include 収入の部 (Student fees, etc.) and 支出の部 (Personnel, etc.).

事業活動収支

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 平成29年度予算, 平成28年度予算, 差異. Rows include 教育活動収入の部 and 教育活動支出の部.

Summary table for 教育活動外収支差額, 経常収支差額, 特別収支差額.

Summary table for 基本金組入前当年度収支差額, 基本金組入額合計, 当年度収支差額, etc.

Summary table for 事業活動収入計, 事業活動支出計.



ロータリーエンジンで有名な「ルーローの三角形」。そのフランチ・ル

機械系学生の入門書

ロー(19世紀ドイツの機械工学者)によると、機械とは「抵抗力のある物体の組み合わせであって、その各部はある限定された相対運動を行い、これによって自然のエネルギーをわれわれの欲する仕事に変じるもの」と



長瀬教授

定義されている。機構学はこの「限定された相対運動」を論じる理論体系で、例えばクラック角度に定じたピストンの速度とシャフトの回転数の関係や、カムの輪郭曲線を求める際に必要な考え方を扱うなど、機械工学分野の基礎科目の一つだ。本書は、50年以上読まれてきた稲田・森田の両

大学課程 機構学 (改訂2版)

著者 稲田重男・早稲田大名誉教授、森田鈞・同、長瀬亮・千葉工大機械電子創成工学科教授、原田孝・近畿大教授

発行 二オーム社
価格 2484円 (税込み)

「中国3大学から留学」20周年

津田沼で記念同窓会



本学と交流協定を結ぶ中国3大学(哈爾濱工業大、吉林大、北京理工大)から留学生を迎え20年経ったのを記念する留学生

同窓会が4月29日、津田沼校舎1号館で開かれた。中国人同窓生とその家族約50人がキャンパスに集結し、思い出を語り

合った写真会上。会場には瀬戸熊修理理事長、小宮一仁学長と、指導した教員たち、関係職員らが顔をそろえた。中国人卒業生は、その後日本に在住した人たちと、中国からこの日のために来日した人々。



卒業生代表の富永堅さん(プロジェクトマネジメント学科2001年卒)が開会の辞を述べ、懇親パーティーを開始。瀬戸熊理事長が「中国の大学と交流協定を締結するにあたって、故豊田耕作会長以下大変な苦勞があった。こうした形で美を結んだことは

うれしい」とあいさつすると、同窓生たちは「当時の苦勞をはじめて知りました。先生方のおかげで、こうして日中の架け橋になれているのですね」と感慨深そうだった。会場では当時の様子をスライドショーで上映。歓声が上がると、懐かしさのあまり涙ぐむ卒業生もみられた。最後に準備した特製Tシャツを全員で着用し同下。千種寮仕込みのエネルギー校歌を高らかに歌い上げた。

大野名誉教授が死去



本学名誉教授で元金属工学科教授の大野篤美氏が4月13日、老衰のため死去した。92歳。

大野氏は昭和28年に本学冶金学科を卒業し同年4月、助手として本学へ就任。45年、教授に。高品質な金属材料を生み出す加熱鋳造連続鋳造法「OCCプロセス」の発明で世界に知られ、その

山中評議員死去



本学評議員の山中義隆氏(元オリエンタルモーター取締役兼常務執行役員)が4月10日、死去した。62歳。平成22年2月6日から評議員を務めていた。

技術は今も本保元次郎教授の研究室で受け継がれている。

活躍する 校友

TDKラムダ株式会社取締役

八鳥 佐内さん (56歳)

(昭和58年、経営工学科卒)

電気流れるところ、電源回路あり——この分野で世界的なリーディングカンパニー「TDKラムダ」(本社・東京)の長岡テクニカルセンター長、八鳥佐内さん(取締役)のモットーは「常在戦場」だ。「よいと思ったら即実行するチャレンジ精神かな」。新潟県長岡市にある同センターでそう語った。

「でも自分は少し違う。我慢せず、考えていることをストレートに口にします。相手が上司でも、部下でも同じです。言ったことが間違いなら、すぐ直します」。にこやかな外見から予想できないシンのあるコトバが返ってきた。

成し、自動化・ロボット化を進めることで海外生産以下のコストを実現できたという。同時に、快適な労働環境に向けた「働き方改革」にまで目配りの欠かせない時代である。「働き方の改善はイコール経営改革です。明日から残業をゼロにと言ってもムリな面はある。でも、例えば週末に次週の仕事量や会議などに要する時間を表に落とすなど作業を「見える化」していくことで見直しは可能」と意欲的だ。

「いい！」即実行 海外生産を国内に転換



「難しいことに挑む気概ある学生が欲しい」と八鳥さん

「でも自分は少し違う。我慢せず、考えていることをストレートに口にします。相手が上司でも、部下でも同じです。言ったことが間違いなら、すぐ直します」。にこやかな外見から予想できないシンのあるコトバが返ってきた。

「大学は東京で」と本学へ。硬式テニス部で4年間を

では、いまの若い部下たちはどう見えるのか。海外赴任の打診に、「家族がちよっと……」と断るケースもある。と、いささかの戸惑いを隠さない。毎年10人前後を新規採用するが、「やさしいことより、難しいことに挑む気概ある学生が欲しい」と話す。

「大学は東京で」と本学へ。硬式テニス部で4年間を

「大学は東京で」と本学へ。硬式テニス部で4年間を

「大学は東京で」と本学へ。硬式テニス部で4年間を

新任紹介 (敬称略)

教員

藤本 靖 教授
(電気電子工学科)



学科教員の方々に教えて頂き、事務方もスムーズで仕事しやすい環境です。学生や大学を知り最前線の研究や教育に還元しながら光を知る人材を育てたいと思います。

森川 泰成 教授
(建築学科)



広々として清潔感あふれる綺麗なキャンパスで学生たちと一緒に楽しくかつ充実した研究生活を送りたいと思います。

清澤 秀孔 教授
(生命科学科)



とてもきれいな建物や印象的です。今後は、生き物自体や生命現象自体に興味をもってもらえる授業や研究をしていきたいと思っています。

國宗 永佳 教授
(情報ネットワーク学科)

素晴らしい環境がそろい、学生たちははじめです。研究分野は、教



川西 範明 准教授
(教育センター)

研究を進められるよう頑張りたいと思います。

三原 康司 教授
(経営情報科学科)



フレンドリーな中に、プロフェッショナルとしての誇りを感じる活気ある学科です。自身の教育・研究力を高め、経営工学的サービス研究で実績を残したいと思います。

藤原 明広 准教授
(情報通信システム工学科)



設備や体制の充実したとてもきれいなキャンパスで、研究や教育に専念できそうです。元気な学生と一緒に研究し、成果を出していきたいです。

信川 創 准教授
(情報工学科)



学生の学習意欲やポテンシャルの高さを感じます。良い授業を展開し、



(国際金融研究センター)

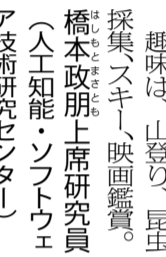
職員の方々に活動しやすい環境を作ってもらい感謝しています。恵まれた環境でデータに基づいた意味のある分析を行うこと、一見難しい分野の知見をわかりやすい形で提供すること等に努めていきたいと思っています。

加藤 泰浩 主任研究員
(次世代海洋資源研究センター)



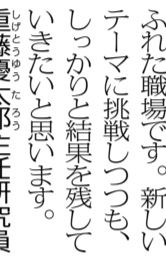
千葉工大は、①明るい②仕事しやすい③情熱を感じます。千葉工大と日本のために大仕事をしたいです。

木島 愛 准教授
(教育センター)



綺麗なキャンパスでありさつとしてくれる学生が多く、とても良い環境だと思っています。フランス語、フランスを中心に楽しい授業を皆さんに提供できるように頑張ります！

蛭子 彰仁 助教
(教育センター)



講義内容に何らかの意見を述べる学生が多く、千葉工大らしさを感じます。学生の反応を見ながら授業方法を改善し、まずは大きな声を出せるように体力をつけます！



胡 哈斯其木格 事務職員
(学務部)

マートでもとても親切です。学生の皆さんは、活発で楽しいので購買で人形を買いました。千葉工大の発展に貢献できるように精一杯努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

松山 普一 主任研究員
(国際金融研究センター)



経験豊富な研究員の方々から、アドバイスを頂けるのでありがたいです。落ち着いた雰囲気の中で研究が出来るので、良い研究を積み重ねて少しでも千葉工大に貢献できたらと思います。

須藤 岳大 主任
(就職進路支援部主任)



皆さん明るくて学生想の方が多く大学です。所属部署内だけでなく、教職員の皆さんの協力が大切と思っています。『学生のために』を第一に頑張りたいと思います。

田中 英雄 事務職員
(総務部)

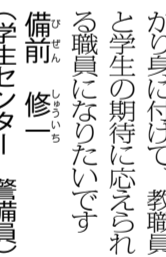


同僚を気遣い、お互い



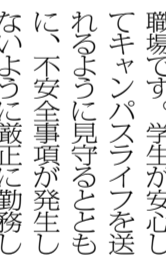
歩でも前進できるように頑張ります。趣味は読書。

式田 達矢 事務職員
(学生センター)



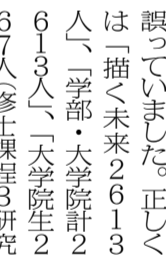
多くの学生に多種多様な質問をされるので、幅広い知識を要求される職場と感じました。先輩方のようにスキルを身に付け、学生たちをサポートできるように努力します。

三澤 玲 事務職員
(学生センター)



素直でフレッシュな学生のパワーに触れられてありがたい環境だと思っています。学生の皆さんの支えになるお手伝いが少しでも出来るよう、頑張りたいと思います。

川畑 仁嗣 事務職員
(学生センター)



学生という荒波と戦っていますので、やりがいの有る職場です。日々1

同窓会



4月から津田沼5号館7階同窓会事務局に移ってまいりました。3月までは、同じ建物の1階図書事務室に居りましたが、ここ7階事務室からは、窓外の眺めがすばらしく、4月は校舎東側にある見事な花の姿が自ずと目に入ってきました。同窓会には、在学生、卒業生が一つの絆のもと母校の存在意義を高めることが求められています。同窓会会則前文には「千葉工業大学卒業生の相互の親睦を厚くし、知識の交換を図り、あわせて母校の発展に寄与することを『会則』の目的に掲げ、活動していきます。」と記されています。活動のなかには、相互の親睦を深めるための同窓会総会やホームカミング等の行事もありませんが、既卒者や第二新卒者が、印象的でした。私は精神構造が単純で、簡単に感化されてしまったため、その人たちの言葉を聞いていくうちに、「よっしゃ、俺も二丁やったるか」という気分になり、そのテンションを日々上げております。新年度がスタートして1か月が経ちましたが、皆さんも何か一丁やってみませんか？

同窓会事務局 金子 満男

四季雑感



この4月から勤務する場所が変わり、業務で必要なものを依頼する側から提供される側になりました。従来とは逆の立場になり、これまでの経験とはかなり異なる業務内容のため、日々勉強の毎日です。とは言え、今までに無い新鮮さを感じながら仕事に励んでおり、

土手内 徹

実を言うと、私が本学へ入職した平成4年は創立50周年を迎えた記念の年。式典で右往左往していたあの日から25年！長かったような、短かったような……。しかし、その間を過ごした時間や場所、どこをどう振り返っても私はいつでも「一人」に恵まれていたように思う。教職員の方々、プロジェクト等で関わった学生達。その時々で大事なことを学ばせてくれたことにあらためて気付かされる。今年入学した学生たちは大学生活を始めて早2ヶ月。大勢の「一人」に囲まれ忙しくしていることと思う。ただし、梅雨が始まると急に人恋しくなるのが常。こころで一声、一人暮らしをしているお子様へ「元気？」とお声を掛けていただければ幸いです。

編集だより



5月15日、千葉工業大学は創立75周年を迎えた。創立記念日に掲出した新聞広告では、「求む、宇宙人」という大胆かつインパクトのあるコピーやビジュアルを用いたことで、新たな姿勢を周知し話題を呼んだのではないだろうか？

入試広報課 大橋 慶子

訂正 本紙4月15日号1面・平成29年度入学式の記事で「描く未来2583人」の見出しと本文の内訳人数が誤っていました。正しくは「描く未来2613人」、「学部・大学院計2613人」、「大学院生267人(修士課程3研究科253人、博士後期課程3研究科14人)の合わせて2613人」でした。

入試広報課 大橋 慶子